

指導・支援を考えるための

認知特性と学習環境の整理

福島県特別支援教育センター



1

内容

1 認知特性の影響

2 認知特性と学習環境の整理

2

1 認知特性の影響

認知機能 … 五感(視・聴・嗅・触・味)や記憶、思考、判断、表現などに必要な「**知的な機能**」

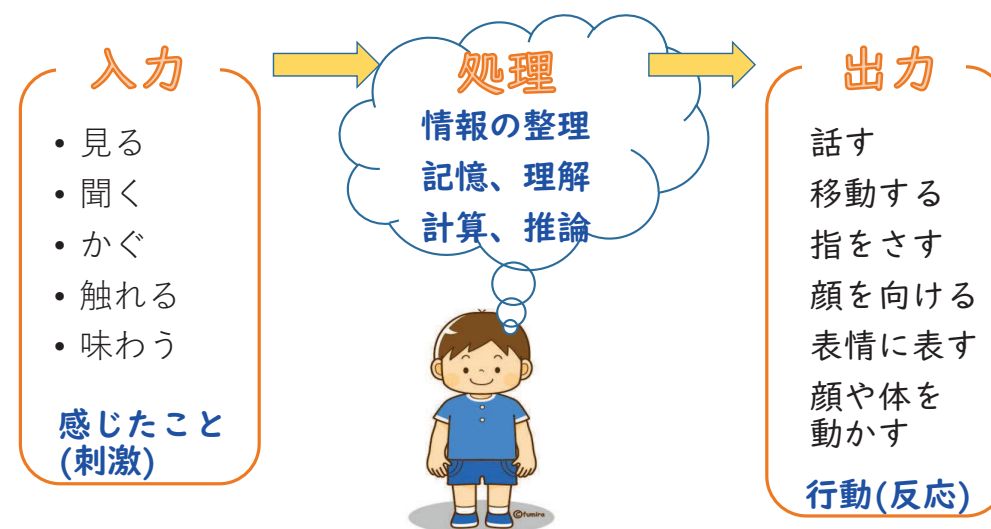
例:視覚／聴覚機能、文字や文の理解、音声言語の理解、絵や図形の認識、注意の持続、処理速度、プランニング、ワーキングメモリ、など

認知特性 … 人により異なる**認知機能の処理方法**

例:視覚優位／聴覚優位、同時処理／継次処理、それぞれの認知機能の得意／苦手 など

3

どんなものを見て、何を感じているか



「入力」した情報を
内面で「処理」して、
見える形で「出力」している。

4

1 認知特性の影響

認知特性を把握するよさ

例:「絵や図を見て理解」が得意
「耳で聞いて理解」が苦手
という特性がある子



プリントを配付して
指示をする

分かりやすい! (学びやすい環境)

やることをその都度
口頭で伝える

ついていける (学べる環境)

やること全部を口頭
で1回だけ伝える

分かりにくい! (学びにくい環境)

本人の特性を理解していると、その場の状況に応じた
「指導方法の調整」や「環境の調整」ができるようになります

5

「気付く」背景・要因推察のための 実態把握シートについて

『気付く』背景・要因推察のための実態把握シート

年 組	児童生徒名	記入日(記入者)	
認知特性	行動や様子から	チェック【○】	所 見
目・立 体	①本や教科書から「図やグラフを読み取る」	得意 普通 苦手	
	②「地図を読んで」行き方を調べる	得意 普通 苦手	
	③図工や美術の授業で「形や構図を考える」	得意 普通 苦手	
	④		
言語理解	①相手に「できごとを説明する」	得意 普通 苦手	
	②日常会話で「話が分らなくなる」こと(耳)	少ない 普通 多い	
	③文字や文章を読んで理解できる(目)	得意 普通 苦手	
	④		
記憶	①「複数の指示されたこと」を覚える(耳)	得意 普通 苦手	
	②板書を写すときに「黒板を確認する」こと(目)	少ない 普通 多い	
	③	少ない 普通 多い	
	④		
処理	①板書を「早く写す」こと	得意 普通 苦手	
	②時間の決められた課題で「時間切れ」になること	少ない 普通 多い	
	③着替えや準備に「時間がかかる」こと	少ない 普通 多い	
	④		
運動	①相手の動作や動きを「マネする」こと	得意 普通 苦手	
	②「細かい作業・組み立て」をすること	得意 普通 苦手	
	③「バランスよくきれいに」字を書くこと	得意 普通 苦手	
	④		
注意	①相手の話を「終わりにまで聞く」こと	得意 普通 苦手	
	②目の前に色々な物があっても「課題に集中する」	得意 普通 苦手	
	③周りがにぎやかでも「作業を続ける」こと	得意 普通 苦手	
	④		
計 画	①初めての課題への「取り掛かりが遅い」	少ない 普通 多い	
	②作業するとき「効率のよい手順を考える」こと	得意 普通 苦手	
	③旅行や外出時に必要な「準備を整える」こと	得意 普通 苦手	
	④		

取り組みやすい学習環境 ※本人の学びに対し好ましい環境に○を、苦手な環境に△をつけてください

感覚の傾向	心理面の影響	対人関係の影響	見通しの影響	注意の持続
・静かな所 ・にぎやかな所 ・明るい所 ・暗い所	・みんなでやる ・一人でやる ・興奮した状態 ・何かが気になって いる状態	・友達と一緒にいる ・初めてのひととやる ・人に見られている ・教師が見ている	・初めての活動 ・経験したことがある 活動 ・日常的に行っている 活動	・長時間読み続ける ・長時間聞き続ける ・自分のペースで 長時間取り組む

実態把握シートを
チェックして、ご自身
の取り組みやすさを
確認してみましょう。



6

実態把握シートから読み取れること

①おおまかな認知の特性

認知特性	行動や様子から	チェック【○】	所 見
目・立 体	①本や教科書から「図やグラフを読み取る」	得意 普通 苦手	
	②「地図を読んで」行き方を調べる	得意 普通 苦手	
	③図工や美術の授業で「形や構図を考える」	得意 普通 苦手	
	④		
言語理解	①相手に「できごとを説明する」	得意 普通 苦手	
	②日常会話で「話が分らなくなる」こと(耳)	少ない 普通 多い	
	③文字や文章を読んで理解できる(目)	得意 普通 苦手	
	④		
記憶	①「複数の指示されたこと」を覚える(耳)	得意 普通 苦手	
	②板書を写すときに「黒板を確認する」こと(目)	少ない 普通 多い	
	③	少ない 普通 多い	
	④		
処理	①板書を「早く写す」こと	得意 普通 苦手	
	②時間の決められた課題で「時間切れ」になること	少ない 普通 多い	
	③着替えや準備に「時間がかかる」こと	少ない 普通 多い	
	④		
運動	①相手の動作や動きを「マネする」こと	得意 普通 苦手	
	②「細かい作業・組み立て」をすること	得意 普通 苦手	
	③「バランスよくきれいに」字を書くこと	得意 普通 苦手	
	④		
注意	①相手の話を「終わりにまで聞く」こと	得意 普通 苦手	
	②目の前に色々な物があっても「課題に集中する」	得意 普通 苦手	
	③周りがにぎやかでも「作業を続ける」こと	得意 普通 苦手	
	④		
計 画	①初めての課題への「取り掛かりが遅い」	少ない 普通 多い	
	②作業するとき「効率のよい手順を考える」こと	得意 普通 苦手	
	③旅行や外出時に必要な「準備を整える」こと	得意 普通 苦手	
	④		

7

実態把握シートから読み取れること

②取り組みやすい環境

取り組みやすい学習環境 ※本人の学びに対し好ましい環境に○を、苦手な環境に△をつけてください

感覚の傾向	心理面の影響	対人関係の影響	見通しの影響	注意の持続
・静かな所 ・にぎやかな所 ・明るい所 ・暗い所	・みんなでやる ・一人でやる ・興奮した状態 ・何かが気になって いる状態	・友達と一緒にいる ・初めてのひととやる ・人に見られている ・教師が見ている	・初めての活動 ・経験したことがある 活動 ・日常的に行っている 活動	・長時間読み続ける ・長時間聞き続ける ・自分のペースで 長時間取り組む

・活動や学習をする際の好ましい環境と苦手な環境
を把握し、環境調整の工夫・検討に生かす。

8

演習① ご自身の認知特性や取り組みやすい学習環境はどうでしょう？

実態把握シートでチェック (3分間)

記入したことの整理 (2分間)

[illegible]

9

実態把握シートをチェックして いかがでしたか？

留意点

「得意・苦手」の捉えや基準は、観察者によって異なる。だからこそ、対話を通して、子どもの様子や姿について多面的・総合的に考え、観ていくことが必要。

実態把握シートで取り上げているチェック項目は、あくまでも一部の視点。

10

2 認知特性と学習環境の整理

演習② 事例『整理整頓が難しいAさんについて』

「実態把握シート(演習用)」を見て、Aさんの様子を
考えてみましょう。



『気づく』 背景・要因分析のための実態把握シート (演出用)				
年 組		児童生徒名	記入日(記入者)	
認知特性		行動や様子から	チェック [○]	所 見
観・聴・触・味・体	① 本や教科書から「面やグラフを読み取る」	得意 普通 (25)		特に自分の興味のある点について は得意
	② 地図を読んだり、行方を探る	得意 普通 (25)		
	③ 図鑑や美術の授業で「図や構図を考える」	得意 普通 (25)		
言・聴・読・書	④ 相手を「ききとくを明確する」	得意 普通 (25)		特に自分の興味のある点について は得意
	⑤ 日常会話で「話の分がたくなること」(意味)	得意 普通 (25)		
	⑥ 文字や文章を読んだり理解すること (目)	得意 普通 (25)		
記・認	⑦ 「複数の指示されたこと」を覚える (耳)	得意 普通 (25)		「文字で、黒紙を確認しながら読める」
	⑧ 板書や書きとりに「黒紙を確認すること」(目)	少ない 普通 (15)		
	⑨ 少ない・普通 (15)			
知・理	⑩ 相手を「早くわかる」こと	得意 普通 (25)		「文字で、黒紙を確認しながら読める」
	⑪ 時間の決められた課題で「時間切れ」になること	少ない 普通 (15)		
	⑫ 習覚えや課題に「時間がかかる」こと	少ない 普通 (15)		
操・動	⑬ 相手の動作や動きを「マネする」こと	得意 普通 苦手		苦手だけど、自分の好きなこと などできる
	⑭ 「細かい作業・組み立て」をすること	得意 普通 苦手		
	⑮ 「パズルをよそきれいに」玩をすること	得意 普通 (25)		
注・意	⑯ 相手の話を「終わりを待つ」こと	得意 普通 (25)		苦手だけど、自分の好きなこと などできる
	⑰ 目の前に他なる物がある「視線に集中する」	得意 普通 (25)		
	⑱ 周りに気がつかず「作業を続ける」こと	得意 普通 (25)		
計・算	⑲ 初めての課題への「取り掛かりが早い」	少ない 普通 (15)		苦手だけど、自分の好きなこと などできる
	⑳ 作業するときに「必要なよい手順を考える」こと	得意 普通 (25)		
	㉑ 指示や方法通りに必要な「手順を要入」こと	得意 普通 苦手		

取り組みやすい学習環境 本人の状況に押し持たし得意な環境に。苦手な環境に△をつけてください				
感覚の傾向	心理面の影響	対人関係の影響	見聞の影響	注意の持続
● 集中する	● 一人でやる	● 友達と一緒にやる	● 初級・中級	● 長時間の持続
○ 一人でやる	○ 一人でやる	○ 初めの人とやる	○ 初級・中級	○ 長時間の持続
○ 一人でやる	○ 一人でやる	○ 人に見られている	○ 初級・中級	○ 長時間の持続
○ 一人でやる	○ 一人でやる	○ 教師が見ている	○ 初級・中級	○ 長時間の持続

11

12

Aさんの認知の状況について、
得意なことや苦手なことは何でしょうか？
(3分間)



13

Aさんが学びやすい環境、学びにくい環境は
どんな環境でしょうか？ (3分間)



14

演習③ 実態把握シートで整理した認知特性の情報
から困難さの背景・要因を整理しましょう。

目に見える行動

活動終了後の片づけや整理
が難しい

片付けをするには、
どんな認知処理が
必要な？



【認知面】

・棚のどこに何を片付けるかが分からない
(物の位置関係の理解が難しい)



15

実態把握シートで整理した情報から、困難さ
の背景・要因を整理しましょう。

目に見える行動

活動終了後の片づけや整理が難しい

【認知面】

・物の位置関係の理解が難しい
・記憶の保持が難しい
・処理に時間がかかる
・注意の持続が難しい
・計画的に進められない

【学習環境】

・初めての活動は苦手
・長い時間、聞くのは苦手

これらの困難さの背景・要因に対し、本人の得意なこと、学
びやすい環境を踏まえて、指導・支援を検討しましょう

16

主訴

苦手（困難さの背景・要因）

得意

学びにくい学習環境（困難さの背景・要因）

学びやすい学習環境



指導・支援のアイデア（得意な力を生かす指導の工夫、苦手さを補う指導上の配慮等）

17

まとめ

本人にとってわかる・できる環境づくり

本人をよく観ること（行動観察）

本人の得意なこと・苦手なことを整理する

本人の認知特性や学習環境の影響によるできる/できないの把握



本人と確認しながら進める

チームで多面的に考える



一人一人の学び方に対応した
個別最適な学びの実現